

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 6 月 16 日作成 第 1.3 版

研究課題名	腰椎前側方椎体間固定術（OLIF）におけるケージ挿入に伴う椎体終板損傷のリスク因子の検討
研究の対象	2016 年 2 月から 2019 年 2 月までに当院で腰椎前方固定術を受けられた方
研究目的 ・方法	腰部脊柱管狭窄症や脊柱変形などは、脊柱管における圧迫病変のために神経症状が発生しますが、同時に腰椎の側弯や後弯などの変形自体が治療対象となること少なくありません。そのためには、変形した腰椎を矯正することが必要で、近年広まっている腰椎前側方椎体間固定術（OLIF）は腰椎前方からアプローチして、低侵襲で優れた矯正力を有する手術法です。椎体間に幅の広いケージを挿入することによって良好な矯正力を持っていますが、一定の頻度で腰椎椎体にケージが食い込む現象（終板損傷と呼んでいます）が発生します。本研究の目的は、その終板損傷が実際にどれくらいの頻度で発生しており、発生する原因と調査する事です。ケージ挿入時の椎体終板損傷の頻度と、その発生要因が明らかになることで、より安全な腰椎手術の実現に貢献できる可能性があります。
研究期間	西暦 2021 年 6 月 10 日（研究機関の長の実施許可日）～ 西暦 2027 年 6 月 30 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	どういったことが終板損傷発生の原因となっているかを明らかにするために診療録より、病歴、治療歴、検査データ（術前後のレントゲン、CT、術前の骨密度検査）等を研究に使用します。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その 場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）伊藤 陽平 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-781-7922	